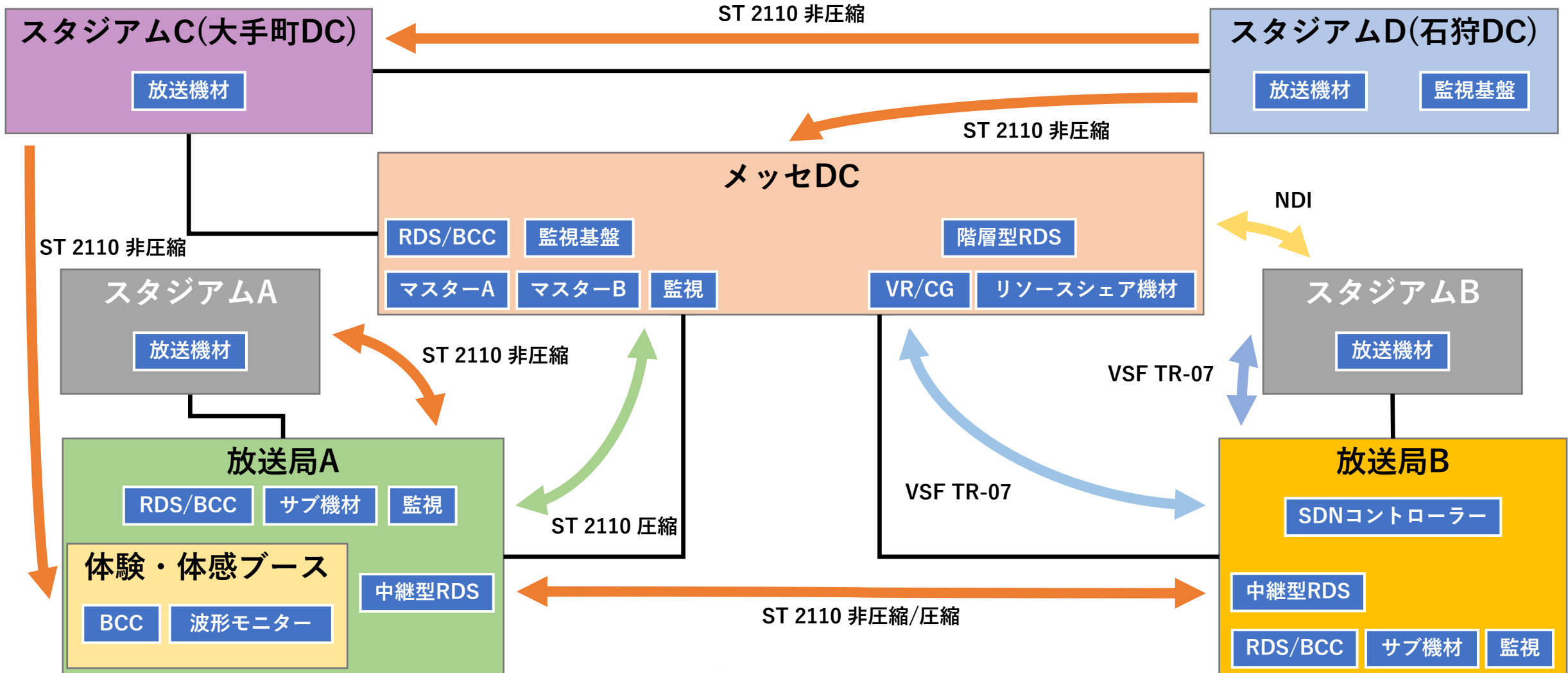


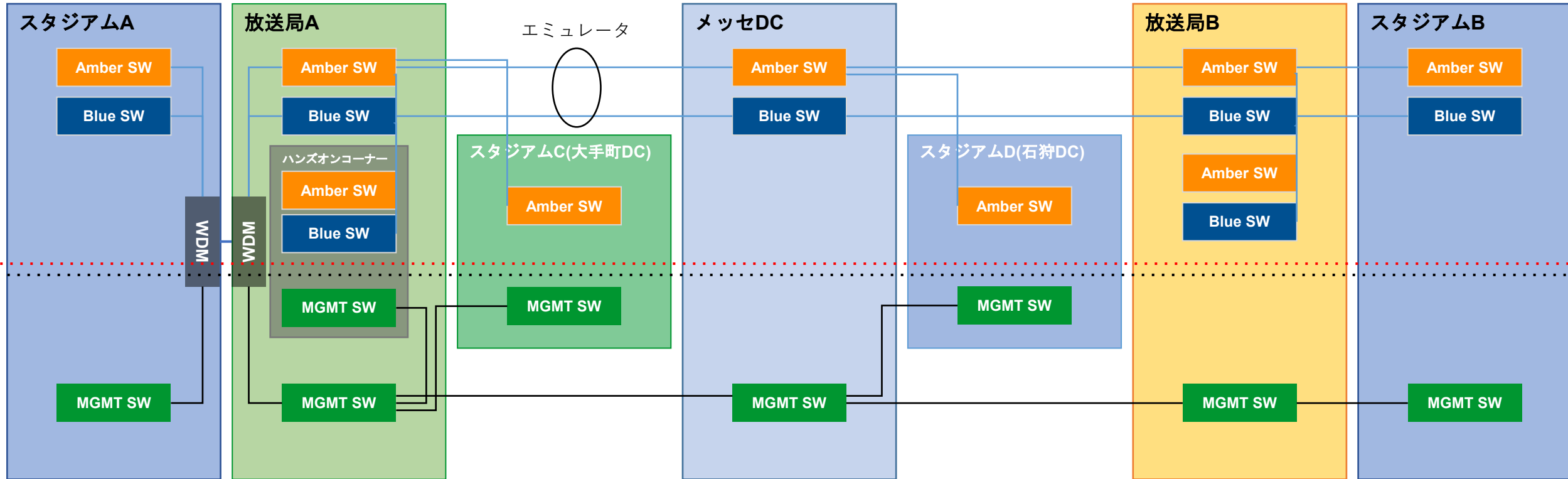
# IP PAVILION 2023 ブースツアー

# 全体概念図



# IP PAVILIONネットワーク構成概要

## メディア面



## 制御面

※概要のため、一部実際の構成と異なる部分があります

# IP PAVILIONネットワーク構成概要

## 1. JT-NMが推奨するMedia over IP(MoIP)の基本構成

▶メディア面と制御面を物理的/論理的に完全分離

## 2. SMPTE ST 2022-7を考慮したメディア面構成

▶まったく同一かつ物理的に完全分離したネットワークを2面準備 (Amber/Blue)

## 3. NMOSでの制御等を問題なく実施するためのシンプルな制御面構成

## 4. 1つのメーカーにこだわらない、マルチベンダーでのネットワーク構成

▶各エリア、Amber/Blueで別メーカー品を使い構成 (※一部例外あり)

## 5. 異なるマルチキャスト伝送手法の利用

▶放送局A/データセンター(PIM)、放送局B(SDN/IGMP)

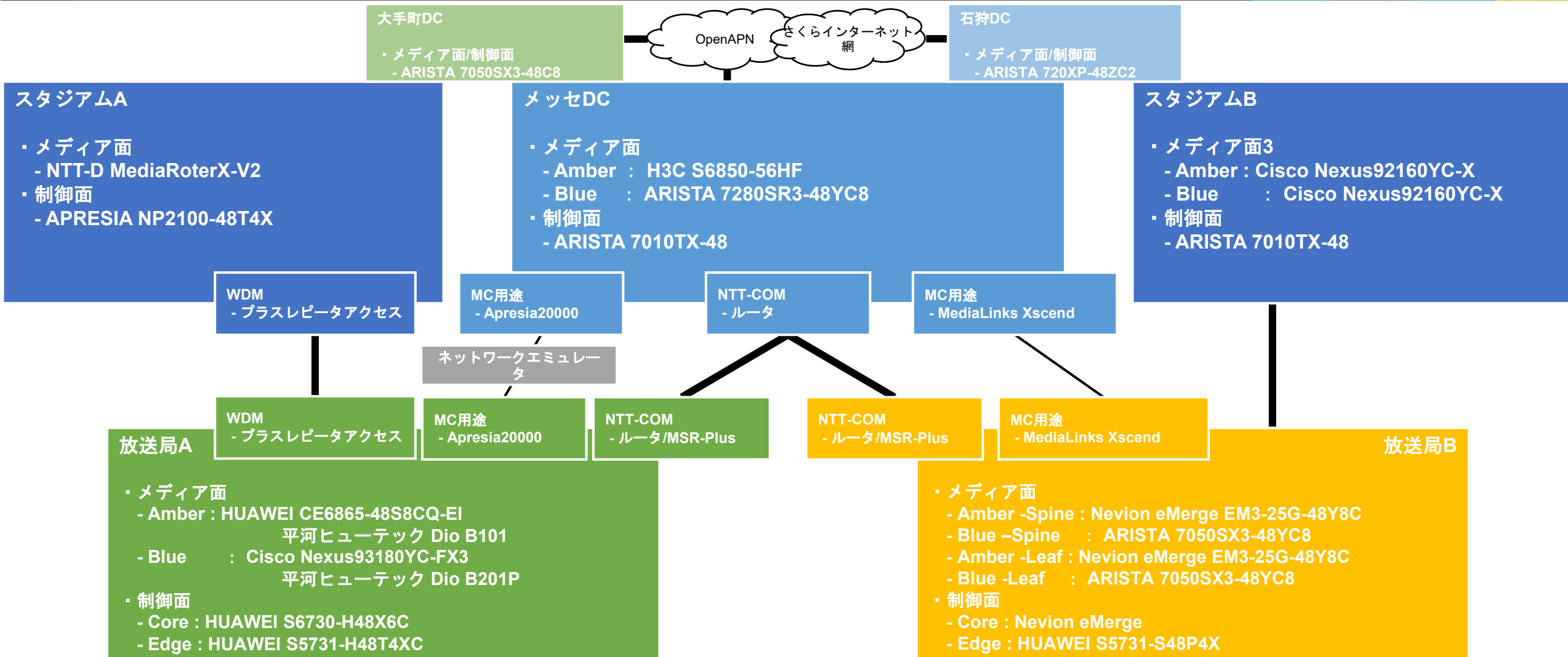
## 6. 運用面を考慮したIPアドレス設計

▶エリアの区別、機器の区別、ストリームの区別等

制御面

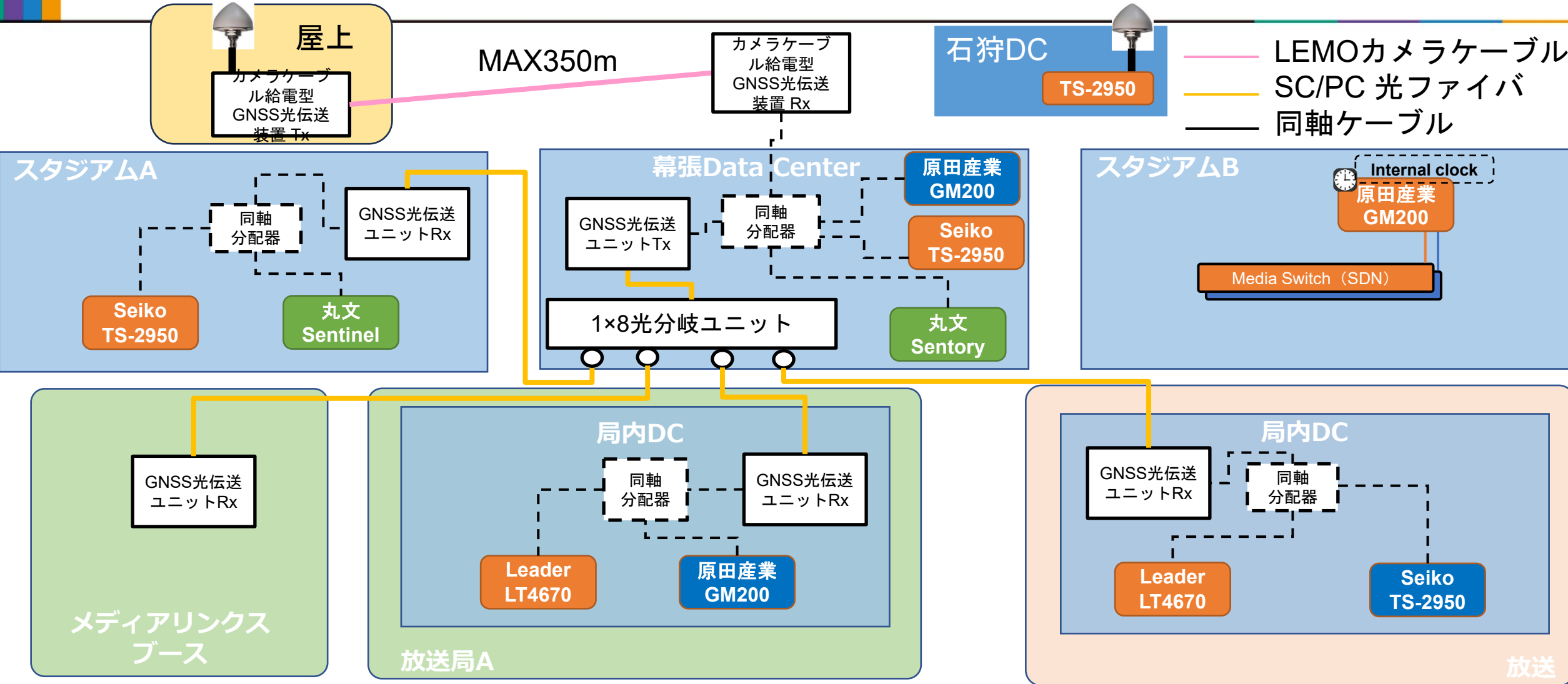
※概要のため、一部実際の構成と異なる部分があります

# IP PAVILIONネットワーク構成概要

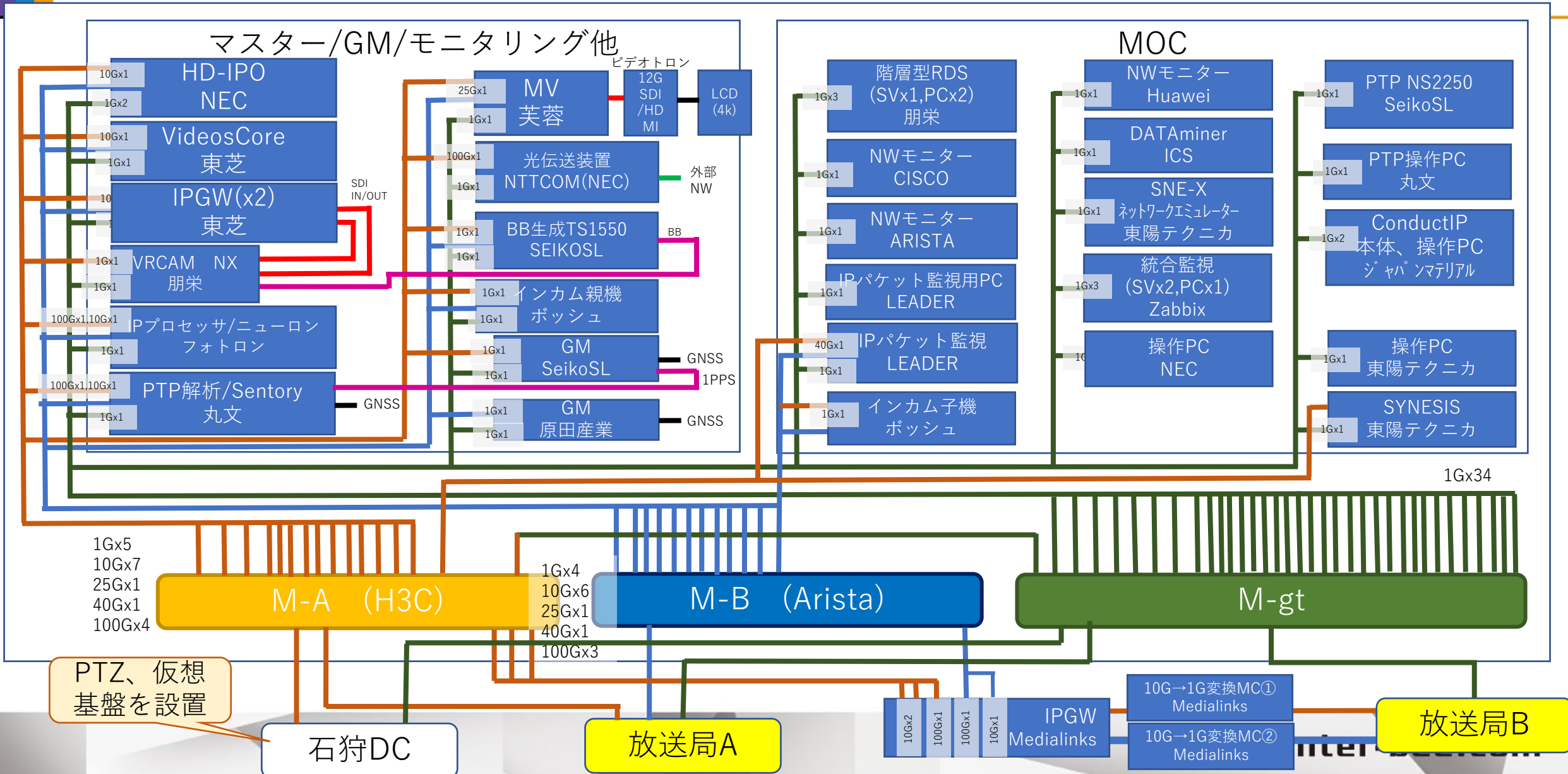


※概要のため、一部実際の構成と異なる部分があります

# GPS/PTP構成

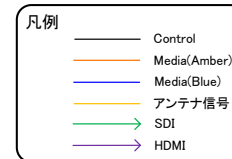
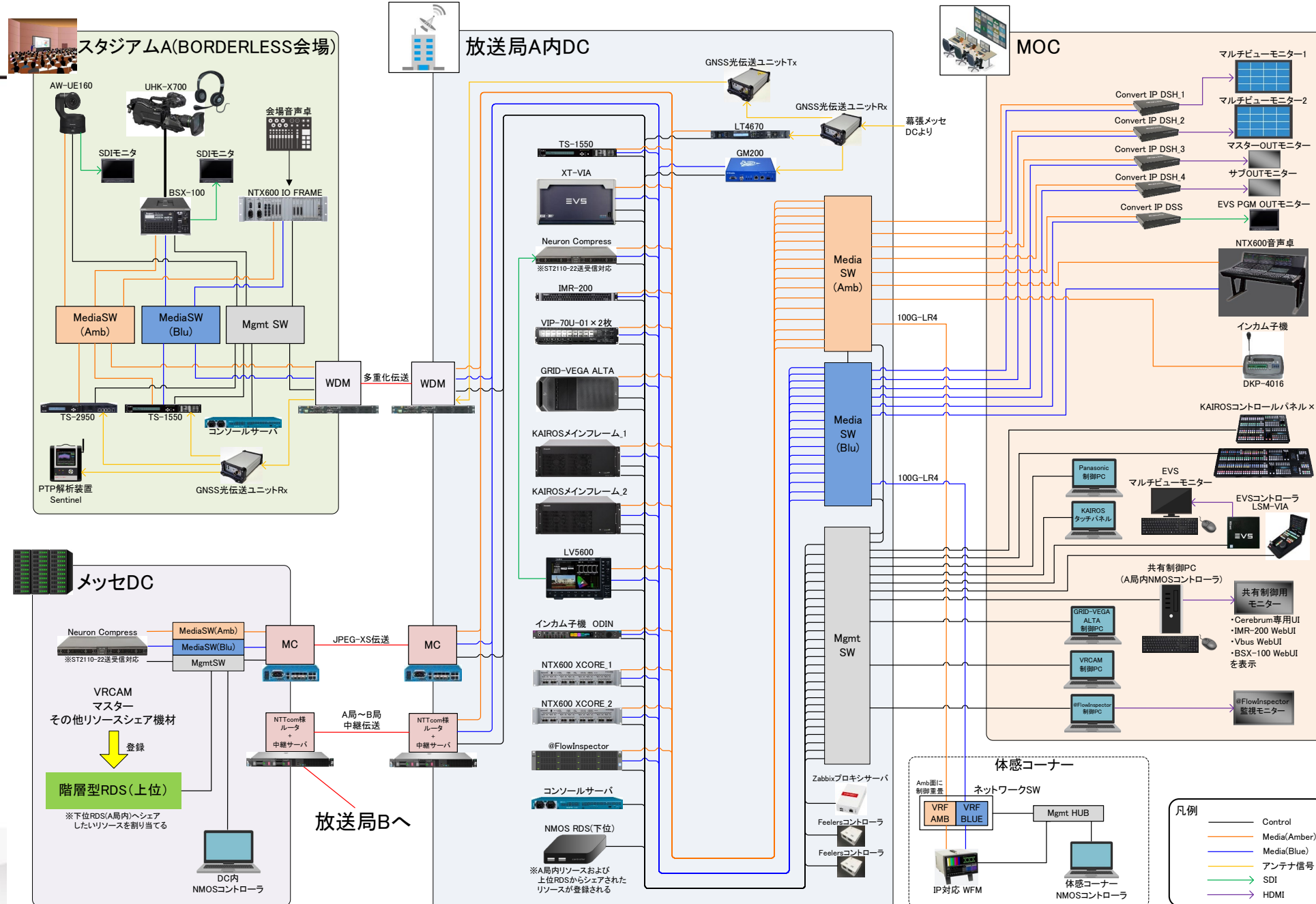


# メッセDC内構成

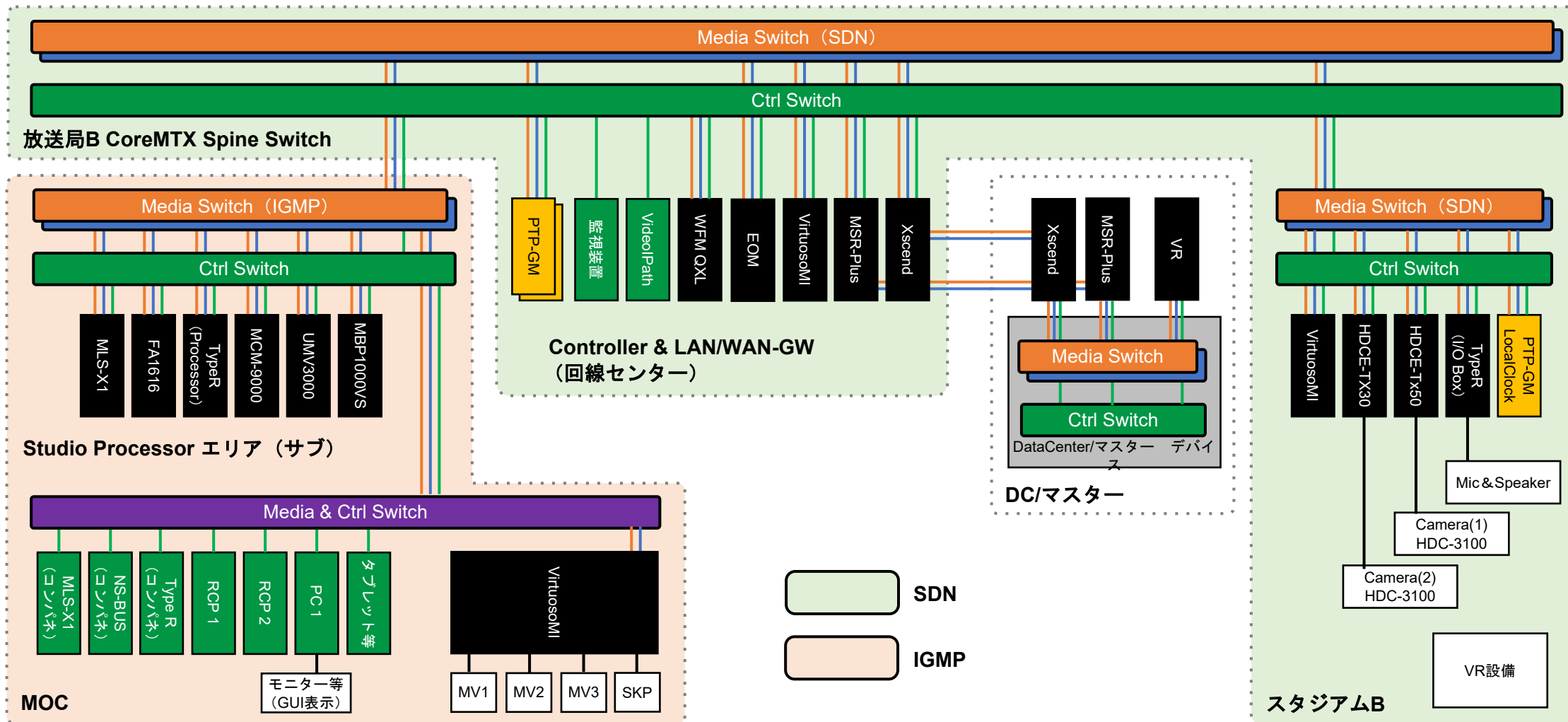


# 放送局A 全体概要図

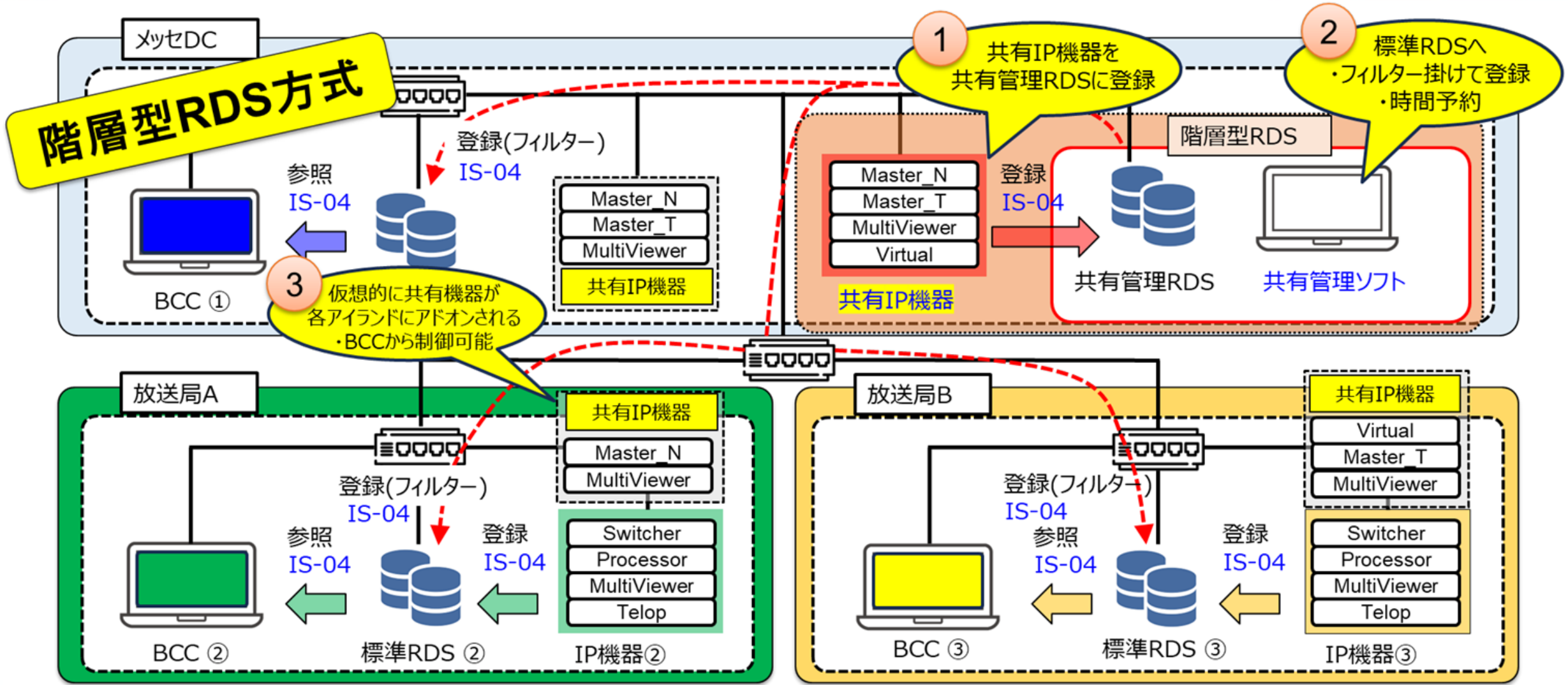
Inter BEE 2023







# 設備間連携の見どころ ～リソースシェア①～



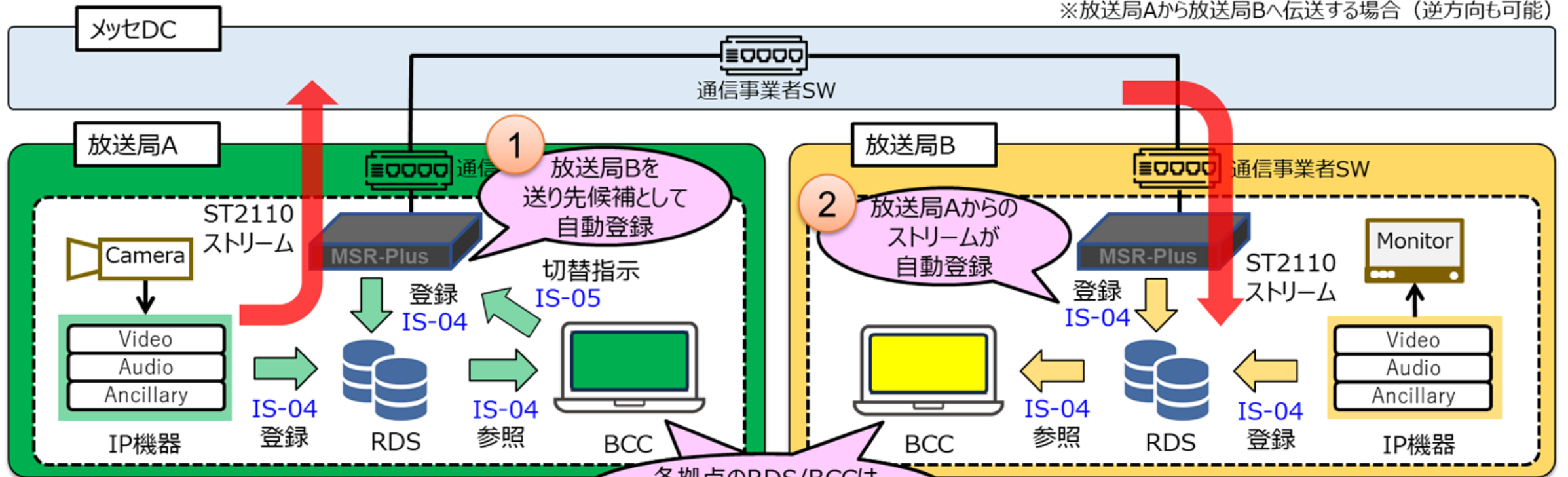
# 設備間連携の見どころ ～リソースシェア②～

## 独立RDS利用方式によるメディアストリームの拠点間伝送

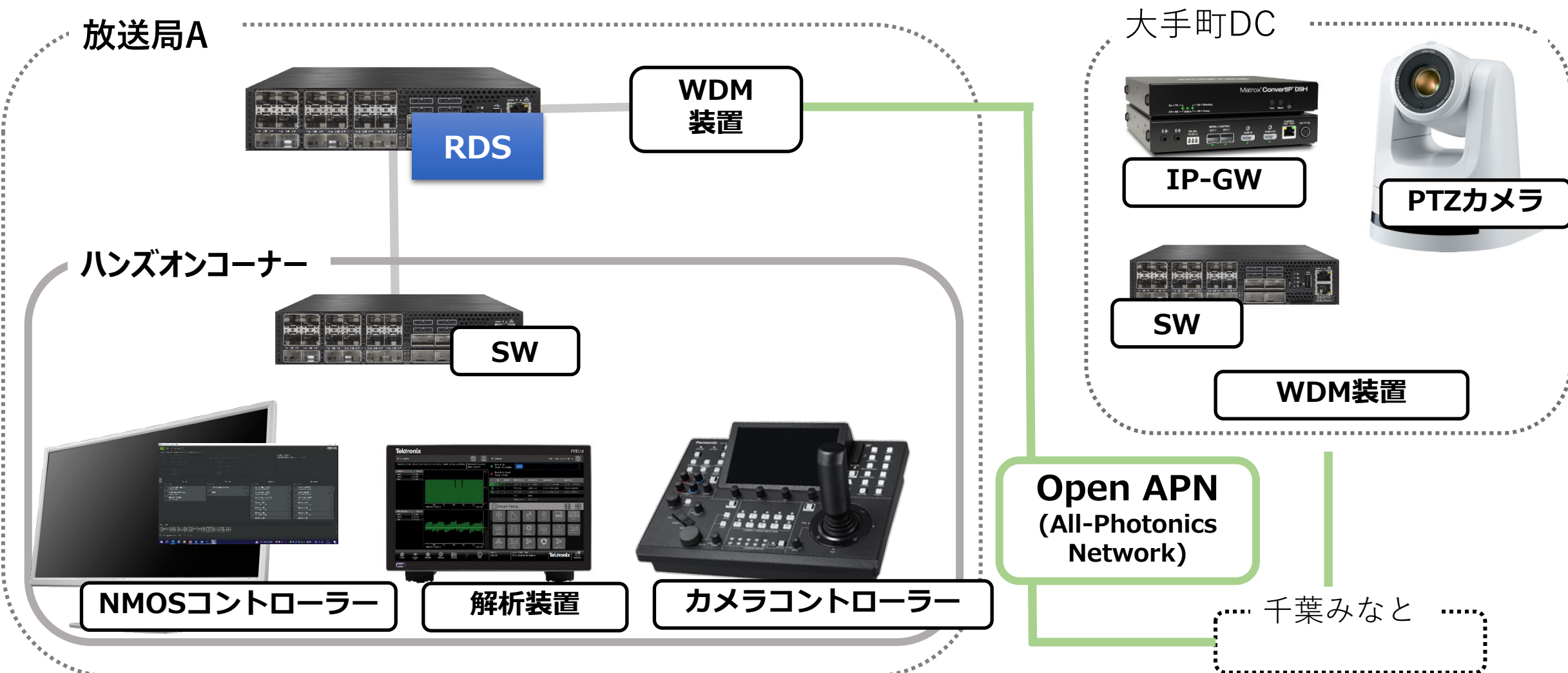
(利用の流れ)

- ①放送局AのRDS/BCC操作により、放送局A内のST2110ストリームを選択して放送局Bに伝送する
- ②放送局BのRDSに放送局Aから伝送されたST2110ストリームが登録される（放送局BのBCC操作で利用可能になる）

※放送局Aから放送局Bへ伝送する場合（逆方向も可能）

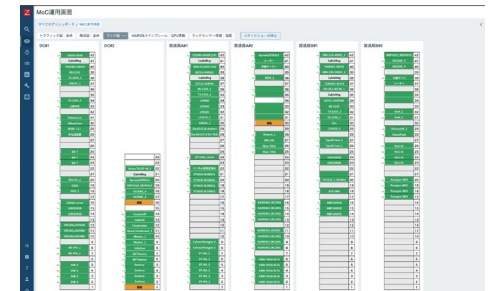
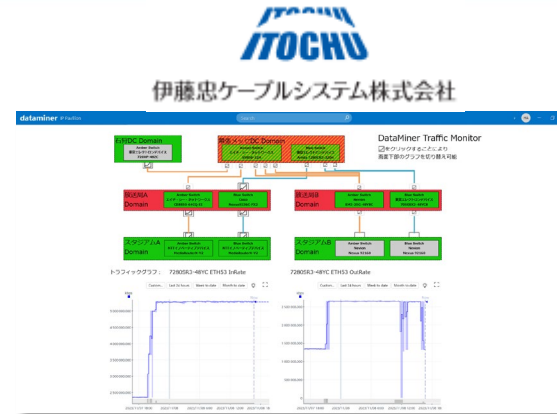


# ハンズオンコーナー概要図



# 監視システム概要

統合監視  
SNMP/PINGを中心に全体機器監視



ストリーム監視/フロー分析  
メディアストリームを解析して障害分析



@FlowInspector

テレメトリ監視  
テレメトリ収集/分析による次世代監視



# 物理面概要

複数の映像を伝送

40/100G に対応したMPOケーブル (12芯)



MPOコネクタ  
12芯

単一の映像を伝送

10G/25G に対応したLCケーブル (2芯)



DLCコネクタ  
2芯

細系ケーブルの採用

通常より細いケーブルの採用

キャパシティ、取り回しが容易



幅広ラック  
700mm~800mm



# 電源環境

- 高密度、高負荷にも対応できる電源環境の導入
  - 200V コンセントバーの一部導入
    - 200V30A 給電により給電能力が倍増
- 3<sup>rd</sup>パーティー製 電源ケーブル
  - 短尺のケーブルを採用することで、邪魔な電源がスッキリ
  - 系統ごとに色分けすることで、冗長管理が容易

